

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公表番号】特表 2011-528990 (P2011-528990A)

【公表日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-048

【出願番号】特願 2011-520223 (P2011-520223)

【国際特許分類】

B 0 1 D 46/52 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 46/52 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 20 日 (2012.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 第 1 面を形成する第 1 組のひだの折り目および第 2 面を形成する第 2 組のひだの折り目を有するろ過媒体であり、前記第 1 組のひだの折り目および前記第 2 組のひだの折り目の間に往復配置されて広がるろ過媒体、を含むひだ付きろ過媒体パックであって、

(b) 前記第 1 組のひだの折り目および前記第 2 組のひだの折り目の間に広がる前記ろ過媒体の少なくとも一部分が、第 1 組の溝流路のピークおよび第 2 組の溝流路のピークを形成する溝流路を含み、この溝流路は、前記第 1 組のひだの折り目から前記第 2 組のひだの折り目への方向に延びており、

(c) 前記ひだ付きろ過媒体パックにおける溝流路の少なくとも 25% が、溝流路の隣接ピークの間の少なくとも 1 つの隆起部 (リッジ) であって、前記第 1 組のひだの折り目および前記第 2 組のひだの折り目の間の前記溝流路の長さの少なくとも 25% に沿って延びる少なくとも 1 つの隆起部 (リッジ) を含み、かつ、

(d) 前記第 1 組のひだの折り目から前記第 2 組のひだの折り目に延びる前記溝流路の少なくとも一部分が、少なくとも 1.05 の $D2/D1$ 値を含み、但し、 $D1$ は前記溝流路の幅であり、 $D2$ は前記溝流路の幅に対応する媒体の長さである、ひだ付きろ過媒体パック。

【請求項 2】

前記第 1 の溝流路のピークまたは前記第 2 の溝流路のピークの少なくともいずれかが、約 1 mm より小さい半径を有する、請求項 1 に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項 3】

前記ろ過媒体が少なくとも 50% の媒体容積の非対称を呈する、請求項 1 に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項 4】

前記媒体が少なくとも 1% の媒体うねり率を有する、請求項 1 に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項 5】

前記溝流路は、幅 ($D1$) の高さ (J) に対する比 ($D1/J$) が、少なくとも 2.0 である、請求項 1 に記載のひだ付きろ過媒体パック。